大正十年十二月二十日 第三種郵便物認可
昭和十四年十一月十七日
磐城新聞
〔金曜日〕
第五千六百七十五號
〔一〕
夕刊
磐城新聞
十一月十六日發行
發行所 磐城新聞社
（日曜祭日翌日休刊）
東京振替一〇五六五八番

天氣豫報 小名濱測候所發表
今晩 南西の風晴
明日 北から南西の風晴

米のアウタルキー

哲名山人

戰爭は物の一大消費者である、その內でも食糧は一番大切である、國民生活にピントひゞく問題で先づ何よりも腹がへつては仕事は出來ない。實に「食糧は武器である」といふ言葉は古來云ひはやされてゐるが今日に至つて初めてしみ〴〵味はされた。國家非常時に當りて」げにさることながら、顧れば、第一次歐洲戰爭に於いて、兵力に於いて劣らぬ、ドイツが敗つたのは、英佛聯合國側によつて糧道をたゝれ、その時の四年間に何んと餓死者は七十六萬人あつたさうだ、と思ひ出してもぞつと身慄ひする。そこに行くと、我國は古來瑞穗の國といはれるだけあつて、アウタルキー（自給自足）が出來るのである。

米は茲十年間の統計を見るに、收穫高は六萬石內外で、外米輸入高は七萬石、朝鮮、台灣より移入高千三百萬石、合計總供給高七千五百萬石、で消費はこれとほゞ同額である。

ところが昨年末より不足の徵候が見れてきたのである。この分で行くと、明後年の食糧に於いて正確なることは判らないが約千七百萬石の不足になる樣である

これは何故にそうなつたかと云へば、アウタルキーの關係もあらふが、前に言つた如く戰爭による一大消費の結果であると思はれる、米は何れの戰爭後も高値を表はしてゐる、即ち西南の役、日清、日露、第一次歐洲戰の各々三年後の高値によりて統計に證明されてゐる如くである。

日支事變も二年有半となり、消費糧の増加がかくの如き不足を來たしたのである、玆に於いてこの不足額を補ふため、政府は國家總動員法を適用して、七分搗食となつたのである。即ち七分搗食を實行した場合には、五千萬石では五分六厘つまり二百八十萬石の米が浮ぶ、勿論混砂搗き禁止のため淘ぎ洗ひをせずに炊けるから、このめりは、四分即ち二百萬石の減損もなくなるから、かれこれ組合せて、五百萬石の節約が出來て、それに酒の減石は昨日發表されたが、それによると本年は內外で二百萬石の減石らしい、そうすると、合計七百萬石の節約が浮ぶのである、其の他外米の輸入を增加し、尚、米穀配給統制法によつて、昔高標準價格（又移出管理も）が各府県毎に定められ、それ以上の取引が出來なくなつたのである、故に價格に於いて米不足に對應したことは政府の當然の策と言はなければならぬ、その一つは白米として移出さることとである、この點で種々の闇取引もいくらか防げるのである。現下の低物價政策に抗して前古未曾有のこの非常時にありて、闇取引の絕わぬのが遺憾千萬である 日本國民としての良心の減却からきたもので日本精神の癌なる方面の發露であつて非國民的である．時局を認識せざるも甚しきものである、今や我等の同胞は生死の境に鎬を削るとき」當り」たとひ背に腹は換へられぬとテへ牛面には法網をくぐり闇取引をなすは、國民的良心より觀れば其罪萬死に値するものである、宜しく自肅自戒すべきである

無花果と兵舍

遠藤逸一

○無花果に青く小さき實のなりし兵舍の裏に秋の雨ひゆ

○夕あかりうつれる樹かげの無果花に倚りてちちのみの手紙を讀めり

○無果花の葉ぶかきむかふに演習の兵の馳けるは見わがくれする

○演習にいでゆくわれは無花果の葉のつゆ霜にぬれて通れり

○無花果の實よりしたゝる夕時雨ふるさと憶ふ心しきりなり

寄懷西牧君曾拜磐城中學校敎諭

珠雲 小野務平

一自分襟十五年
山河隔絕想纏綿
欽君疇昔薫陶積
出世門生德亦全

11月17日

△佐倉宗五郎直訴のため江戸へ出る（承應三）△官吏の穿靴登廳を許す（明治四）△五・一五血盟團關事件關係者に特別減刑の恩命下る（昭和一三）

けふの句

○

畑井戸や霜拭きしごく釣瓶竿　泊雲

講談 振袖横町（ふりそでよこちやう）(80)

須藤鐵一
荻原萬象畫

同志（四）

「盡忠黨」の一派は、五代將軍の柳澤邸への微行の日を以て襲擊をする可く、菱刈織衛が先頭に立つて計畫を立ててゐた。

同志の中でも、中坊平九郎は、この襲擊は無駄である。成功する見込がない――と主張した。

黨派のなかで、かうした異論が對立したので、短氣な織衛は席を蹴つて立ち去つてしまつた。

織衛と共に席を立つたものは、平野松之助たゞ一人である。

「盡忠黨」の襲擊はそれで自然と沙汰止みとなつた形である。

扨、話は變つて、玆に

徳川內御家人、牛込の策士に白井兵助と言ふ小祿で小普請方を勤める御家人があつた。

天下の直參の武士と云ふと、大した貫祿があるやうだが、其の實五石二人扶持なんて情ない生活で內職にから傘を張つたり、提灯のヒゴ削りをやつたりしなければ、其の日〳〵が送れないやうな仕末であつたのだ。

兵助は、婿養子で家附きの娘、お久を妻とし、長男平吉を儲けて生活と云ふよしまで困りもせず先代の貯金も少しあつたので、仲間からは羨ましがられてゐる一人であつた。少しあつたのが惡かつ

兵助は若氣の至りで其頃四谷六方、白柄組を覓潤出立ち、盛り場を荒す旗下を見習つて、喧嘩が飯より好き、酒を飲めば附き物の女買ひ、――。

ところが、大した金を費ふんでもないから、其頃流行の比丘尼買ひといふのを拔かした。

それは、八官町にあつた比丘尼長屋、其當時密賣取締の嚴重だつたので、賣女の頭を圓めさせての苦肉の營業策であつた。

「丸坊主の若い垢拔けのした女は、又格別な味があるよ」

何時の時代にも、變態性慾者は多いもので、八官町は大繁昌。

白井兵助も此奴に引懸つた。

桔梗長屋の妙訥。別名、くされのお安といふ手取り者を買馴染んだ。

女盛りの二十四五、色の拔けた程白い、口の端に愛嬌黑子といふ奴があつて、マア妖婦型の白無垢鐵火のしたゝか者、

「ねえ、白井さん、今夜は泊つて行つてお呉れよ、御新造さんにばかり孝行しないで、偶にや、比丘尼にも堪能させてお呉んなさいな……」

遊女なまりで、しなだれかゝつて來る。

可愛いゝ子のある、妻お久のことも打忘れしは、兵助、妙訥ことくされのお安のいふなり放題に、家へは寄りつかないで、八官町で朝夕を送る日が續くやうになつたのである。

お久は、今年五つになる平吉を抱いて、やる瀨ない心地で淋しく留守居をしてゐる宵の口。

づらりとやつて來たのが、逢摩三郎兵衛と云ふ大阪者

「お久さん、兵助さんは?」

「あら！逢摩の親方、お前さんは、うちの人と一緒ぢやなかつたのかい?」

「ウム、今日は淺草の奧山での、旦那衆のネエゲエがあつての、兵助さんへ、いゝ目が出たんで、到頭勝ち逃げよ。それで、家だやねェかと思つてね、寄つて見たんだが……」

「さうなんですか、待つてゐれば、自宅へなんか歸つて來ませんよ」

「ほんとになあ、あの男にも、呆れ返らア、お久さんて、美しい貞女が、自宅に待つてゐるのに、物好きにも、あんな比丘尼なんかに首つたけたア」

酒トマヅイ
たでんの
榮ちやん
平市田町花ノ里
電話三三番

銘木（床ノ間材）
天井板、ベニヤ板買ふなら
確かに御期待に添ふ良品廉價の
〒織田材木商店へ
福島縣平市
電話平四六〇番
一變せる勉強振りを、ぜひ一度お試し乞ふ
營業種目 建築木材一式 銘木・ベニヤ板 秋田產杉四分板 建具材・便利瓦
◎小店員募集 年齡十五歳ヨリ廿歳迄

展覽會並に即賣會
毛皮界の王座銀狐
期日 來る十一月十五日ヨリ四日間 毎日午前八時煙火合圖
場所 平市驛前劇場あさ
出品頭數 ピカ一揃 六十頭
外參考品 多數出品
入場料 無料
展覽會開催記念のため先着順をもつて多產血統優秀經產狐四十頭有利條件附にて貸付御相談に應じます。お早く申込を
樺太廳中央試驗場血統種狐分讓
北日本養狐場
平市出張即賣會事務所
平市驛前とらや旅館內〔電話六四八番〕

御婚禮 御法事
御會食 御宴會
尚は季節料理
平市田町 電話一七一番
さかき家 料理部

實株は買ツテ御手元へ
必ヅ儲カル優良株
●目下投資時代
投資指針
平市四丁目三十三
富岡株式店
電話一九一

故障の起らぬ
AKD
原口のラヂオ
原口無線電機株式會社代理店
古山電氣商會
平市二丁目（警察署通り）
電話(呼出) 166

加奈陀系銀狐、純血エゾ狸、フイッチ日本テン
東北系多産種狸、雉子家禽各種
大型種兎アンゴラ兎
平產業養狸組合事務所
乾產業會社畜產部
國策アンゴラ兎採毛協會
福島縣磐城種畜場
內郷村擾（平市外）
出張所 平驛前 電六四八番
分讓所 東京市淀橋區下落合
藥品藥餌養各種料
◇北里研究所製 ジステンパー豫防液
東亞製藥所製 綜合ビタミン劑
◇ヴイベリン末（動物わかもとの稱あり）
◇フイッシミール 榮養魚粉
病理研究、診療
榮養劑の配劑
飼育指導の需に應ず
擔任 獸醫師 技師

メガネ專門の店
メガネは絕對信用ある當店に先づ御相談下さい…………
平市本町二丁目 玉屋

ほねつぎ
桑原柔道整骨院
平市公園下電六七四

中等學校制服……大特賣
(高)
高島屋の洋服
男女學生服 新入荷
並ニ注文既製品
高島屋
平市二丁目
電話三八六番

晝夜診療
外科一般 內臟外科
レントゲン科 泌尿器科
北川外科
血液檢査毎日
◎入院隨時
平市新川町〔電四六四〕
醫學博士 北川芳夫

たひらみやげ
御家庭の皆樣が、御茶の友として急度御氣に召す米屋の
風味豊なキントン（ツブシ）最中
平市停車場通り
最中專門店米屋

國民精神總動員……
日本國民・必見の書……
內閣情報部發行
寫眞週報
（1部10セン）
…お取次致して居ります…
（平2） 西村藥局 （電3）

神經痛・ロイマチス
塗布藥
漢方 百草根
藥價 五〇錢 一五〇錢 五〇〇錢
陸海軍病院御用藥
平代理店 丸亀商店
平市大町 電話一三三番

市郡下の該當法人に
職員 社會 臨時措置令を說明
昨日平稅務署の會合

平稅務署では昨十五日午前十時から市、郡下に於ける資本金二十萬圓以上及び職員三十人以上と認めらるる左記法人代表者（小名濱窯業欠席）十八名を招集、去月十六日公布同二十日から實施された國家總動員法第十一條の物價停止令に基く會社職員臨時給與措置令に關し、川鍋署長、平井直稅課長から立法の趣旨及び法文の逐條說明あり、將來の運營上遺漏なきを期することとなつた

前記に該當の法人に在つては本年九月十八日現在を基準として所屬從業員に對し其れ以上の給與を禁止

するが前記以外東京に本社を有する磐炭、入山、古河日曹、大日本各炭礦及び磐城セメント、吳羽人絹等の各會社も亦同樣その適用を受くるは云ふ迄も無い

堀江工業（代表者鈴木唯治）片倉磐城（今井五六）平製氷（木村清治）平電力（栗原欣次郎）磐城商事（鈴木辰三郎）植田水力電氣（金成通）磐東銀行（江尻由孝）小名濱臨海軌道（中野友禮）勿來運送（赤津庄兵衛）植田町昭和窯業（石橋久）勿來町中村採炭（中村貞三郎）隅田川礦業（小田吉治）＝以上株式
鹽屋山崎（山崎與三郎）諸橋（諸橋久太郎）馬目（馬目太平治）＝以上合名＝
磐城無盡（小宅嘉久治）湯本無盡（鈴木康平）＝資本二十萬以下なる職員三十名以上の株式＝

數多い同族會社
資本金二十萬圓以上は 二百六十七中僅か十六社

平稅務署管內に本社を有する法人は合計二百六十七、資本金額二千百三十七萬四千圓（內拂込み濟額千二百三十二萬二千圓）の多きに上つてゐるが內資本金二十萬圓以上は前記十六社この資本金合計千四百一萬圓拂込み濟み六百十五萬七千圓に過ぎず、其間負擔の輕減を目的として組織された小資本の所謂同族會社等が如何に多いかを窺知するに充分なるものがある

市公會堂を飾る 超近代的庭園美
愈よ近く完成の域に入る

新裝平商業學校と指呼の間に對峙して、市南郊の一偉觀たる公會堂は、總般建物以後の第二次的整備に入り庭園及び外廓等は入山の環境整理を完成したなどの關係から地方に緣故ある坂本造園技師の奉仕的設計に基き既に周圍の緣堤を繞り目下庭前其他の植樹中で近く完成と共に近代的の建物に一段の美觀を附加することになつてゐる

坂本技師は內地は勿論鮮滿方面にも知られこの方面の活動、寧日ない斯道の大家で樹石の配置その他今回の設計に當つても先づ建物のフロントエレベーション（正面の高さ）等から仔細に割り出し

賃銀措置令特例に 明るさを取り戻す
昨今の市工場街

之亦相前後しての公布實施により主に筋肉勞働方面を憂欝ならしめた賃銀措置令に關しては特例として新に九月十八日前に同一工場、事業場で一部の勞務者の賃金を引上げた結果他の勞務者の賃金が著しく均衡を缺き事業經營上支障を生じた場合は一齊增給を許可することとなつたほか個々の昇給も召集解除ゐるひは除隊をして原職に歸還した兵隊さんたちは他の勞務者に比し出征中昇給が遲れた場合には昇給を認め、賞與も工場、事業場等の職員の賞與が增加した際は均衡上勞務者についても妥當のものに限り許可し、また暮の賞與よりもお盆率が高い場合はお盆の賞與率によつても差支ないと云ふ事になり市內工場街の氣分も以前の明るさに取り戻した

時代の脚光を浴び 中央の檜舞台に躍る
在京鄕黨の橫顔

【A】

俺が國さから、時代の脚光を浴びて颯爽と活躍する人の中央に於ける活躍振りぶらツと顎を撫でた福島縣今を時めく三大臣を出してこそ目の下三寸の眞鯛の銀鱗潑剌たる程に生きの良いものがある。試みに『東京福島縣人聯合會役員名簿から市、郡下關係のその目星しい處を拾つて見やう、順序としてこの會の沿革だが本會は昭和九年五月十三日軍人會館に於て創立總會を開催成立、副會長には四谷の百萬長者で佐藤代議士の實兄たる元市議渡邊繁太郎氏が就任した餘談だが同氏は本年七十五歲の高齡だが文字通り壯者を凌ぐ矍鑠振りで今月邀り順會孫玄孫の樣な嫡出子を儲け『生めよ殖せよ』の國策に順應し、有り餘る黃金しろがねに併せ、更に『しかめやも』の子寶を喜ぶ！とは芽出度き話の極みではある。

銳意本會機構の整備を初め基礎の確立と擴充發展の爲に盡瘁、多大の功績を殘して昭和十三年十一月十五日第三回總會に於て滿期勇退

會長のバトンは寺田四郎法博から河原田現文相に移りその時新會長から推薦されたのが現在の名譽顧問、常任相談役、相談役で理事、理事長、專務理事等の役員もその時決まつた儘である回顧すれば過去五ヶ年の間に於ては昭和十二年七月四日第二回總會を兼ね松平、馬場、河原田三大臣の祝賀會の如き參會者實に一千二百名と云ふ空前なる盛況を呈したる等事業の遂行を致したるは勿論ではあるが、總じて本聯合會の結成整備と基礎の確立と云ふ基礎的な段階であつたが今後こそは愈よ第二の段階である活動時期に入るべきは當然である。時恰も河原田會長には文部大臣に、畑俊六顧問には陸軍大臣に各榮任せられ本會の光輝を加へられたので近く兩大臣閣下の御光臨を仰ぎ第四會の總會を兼ねお喜びの會合を催すこととなつた

之が役員名簿（第二回）作成に當つての『編輯後記』たるものである

配合の優雅を期したなど地方の一異色と見るべきであると

經濟取締陣 强化懇談
けふ、平植田で

縣警察部では經濟警察官の增配が決定したので本月末から經濟取締陣の强化により國策に反く奸商を徹底的に摘發するが、これに先立ち九。一八物價停止令この他一般經濟取締に關し縣民の協力を求め趣旨の徹底を期すべく今十六日は平、植田、明十七日は四倉各署に經濟警察協議員及び商工關係者を招致し經濟懇談會を開き指導を行ふ

錢湯も値上げ
留湯、湯札制を全廢

市內の錢湯は從來大人一回五錢、湯札五枚二十錢と場所によつて割のよい留湯もあつたが燃料騰貴のため組合では先程協議の結果來十五日から湯札留湯を全廢し、一回五錢とした、從來一番多かつた湯札の客に打擊である

湯本町葬 湯本町出身（本籍田村郡守山町）馬場辰四郎伍長上等兵兩靈の町葬は來る十九日午後一時から小學校に於て執行する

隣保館今月中着工か
不足金は一時借財して
收容百二十 明春早々開館

市社會事業助成會の新事業たる隣保館は內容設備費等を併せ總工費一萬二千餘圓今月中新川南の現授產所東部を敷地として建築工事に着手すべく方面委員より大谷武雄、清水廣政、小野金太郎、門傳滑吉、松崎菊三郎の五氏を建築委員に擧げ過般來市內篤志者から募つた寄附金も大体一段落を告げたがこれに前年度繰越金、軍事援護會の補助二千二百餘圓を併せた約七千圓ではなほ五千圓の不足で一寸行惱みの狀態であるがこれ以上時日が延びては補助も取消さるゝやも知れぬので借財しても是非今月中に着工すべく市內新川町請負師三森己代松氏に見積らせる等目下諸般の準備に忙しい豫定通り進捗すれば大体明春一月頃開館、收容豫定人員百二十名、經營維持は既報の如く會員制度化の助成會費で賄ふといふ寸法で「働く社會」から開館の日を待たれてゐる

石炭を賣り 慰問袋發送
赤井日曹鄕軍活躍

赤井村日曹炭礦鄕軍分會では先程炭礦から粗炭を拂下げ分會長以下會員總出動にこれを賣り捌き得た純益で慰問袋二十餘個を作製、關係將士へ發送した

兒童に適した職業を
紹介所戶別相談に着手

平職業紹介所では管內五十五小學校の明春卒業者に對して既報の如く上級學校へ進むものは別として次男、三男に時局下の產業戰士を志望せよ、と極力職業戰線に寄つことを勸めて來たが既に各學校の申込を集つたので、來月早々はきる軍需工場其他各方面の採用試驗を前にして愈よ父兄當人個々の職業相談を行ふ

流石戰時下、小學兒童の間にも軍需產業の重大さが徹底豫期以上に多い希望だが、一方求人申込みが同所管外分を併せれば到底間に合はず紹介所としては如何に振り分けるかが一と惱み、結局產業部門の重要性を考慮して適當按配といふ模樣だがそれにしても地元商店の窮狀も捨て置く譯には行かずこれ亦或る程度の緩和を期してゐる

職業相談はこの間に處して求職少年の性能、健康、家情其他を調查、適當方面へ誘導するもので、右斡旋に關し立澤所長は語る

國をあげて勞務者不足の折柄小學兒童も一役買つて職業戰線へ立つことは賀すべきことだ、この春卒業した者は既にそれ〲の職業につき天晴れ一人前の產業戰士になるかたはら實家に送金してゐるものもある、近くはじめる職業相談ではよく當人の事情を調べて適當な方面へ斡旋したいと思ふ

衝突 市內北白銀町古物商金森三郎（三五）は十六日午前八時半頃自轉車で長橋町地內を通行中內鄕村綴驛前笹島石炭店方運轉手山田某（三〇）運轉のオートバイに衝突金森は顏面其他に一週間の傷を負つた

市公會堂に野菜市
郡市農會品評會決る

平市並に石城郡農會聯合平市農產物品評會は昨十五日平市團体事務所で打合せの結果來月十六日から三日間市公會堂に開くが出品千五百餘點、審查の上新鮮な出陳品を市價の何割引きかで即賣する

參考品に 大家の多數力作
十八日からX畫展覽會

地方年少作家にとつて傳統ある彩管制覇の檜舞台として逐年盛況に在る磐中X畫展覽會は愈よ明十七日中に陳列を了し十八日から公開さるるが出陳三百餘點全面的の進境を見せてゐると。尚は大家の參考品次の如く地方では容易に接し難い逸品揃ひにその道の人達を狂喜せしめてゐる

○印…淡彩、他は全部水彩畫

（薔薇）赤城泰舒（校庭）佃爵明（赤い穗）三宅克己（磯）石井柏亭（少年）松郁巽（門）安宅安五郎（ロンドン、タワーブリッジ）石川欣一郎（初夏）磯月省三（土瓶と湯呑み）伊原宇三郎（菓子の圖）椿貞雄（牛）清水良雄（果もの）小泉紫

十九日（日曜）催し

△入山自治會第十四回定期總會午前九時より自治會館で
△內鄕交友會々旗樹立式同上淺野記念館にて

寄附

市內胡摩霑駐在所では先程平館に映畫會を開き純益十圓を、又磐城高女下級生一同はイナゴとりして得た三圓を何れも銃後奉公會へ寄附

笛霧

けふから實施された突然の煙草値上げは上は廻轉椅子の重役級から、下は細帶の下水人夫に及ぶ普遍的の嗜好品と云はんよりは寧ろ一部の生活必需品として其の響きも他の諸物價昂騰に比し一層顯著なものがあるは云ふ迄も無いが、高くとも錢かねで濟む以上品切れよりは萬々。とは全く紫煙黨ならでは窺ひ得ぬ所謂醍醐味で最近世紀の翼に世界一周飛行の壯擧を完成したニッポン號の大原親善使節が、根室からノームへ北太平洋翔破の難航を予つた飛行記中に『十

平市慶弔錄

▲死亡　材木町三六正木コウさん（六三）

十一月十七日 金曜 舊 戊午 佛滅 七 危 日 牛宿

▲一白　油斷せず周圍の事情を考へ進めば大發展す▲二黑　十分と思ひし事にも行なやみを生ず火物注意▲三碧　向ふ見ずに進む氣の生ずる日蹉跌する勿れ▲四綠　邪魔物を除けて登れば頂上に達せらるべし▲五黃　圓滿平和を目標とすれば德望は一身に集る▲六白　午前のとゞこほりは午後に至りて自ら通達すべし▲七赤　かたむきかけし運氣も次第に立直り行くべき日▲八白　大波も乘り切つて享樂の天國に入るべき日▲九紫　進出せんとすれば却て擊退せらる守るが勝

十七日 【小名濱測候所觀測】
滿潮 前六、四五 後四、五五
干潮 前一一、四〇 後——

おでん たつた揚 やきとり
一平
電話二六三番

平市驛前
旅館 とらや
電話六四八番

日本姓名學會東北支部長
鵜沼孝昌
平市紺屋町 三六

鑑定項目
名前のみで一代の運命 何んでもわかる……
體力（肉体 疾病）（健康、不健康、相貌（病根病勢、病名）に關する一切
活動（職業 天運）（適業、不適業）（天運、成功、不成功、災厄）に關する一切
血緣（家族運 男女緣）（父母の緣、夫婦の緣子供の緣）（氣質、相性、相剋、婚期方位に關する一切
銀行、會社名、商號、家號、會名、雅號、藝名、養子、養女、姓名、生兒名

女中さん入用
年齡十五六オヨリ二十五才迄
御希望の方至急御來談下さい。
やよい館
白銀町 電話七六番

◇和文歐文タイプライター
◇最新事務用品類
◇文房具一式
◇製圖並に測量用品
◇謄寫版並に附屬品
平市田町銀座街
東邦タイプライター代理店
東邦タイピスト養成所
藤森
電話三七〇番
振替仙臺一五一〇
〔藤森事務用器商會〕

平病院（平市元共濟病院跡）（電話六四一番）
院主 院長 醫學博士 鈴木定藏
內科 小兒科 院長 鈴木定藏 副院長 土井利明
內科 一般外科 皮膚泌尿器科 副院長 高橋俊幸
レントゲン科 物理的療法科 院長 鈴木定藏
藥劑科 部長 吉本孝平
診察時間……每日午前八時ヨリ午後六時迄、夜間診察ニ從事ス（急患ハ此ノ限リニアラズ）

移轉廣告
今般左記へ新築移轉致候間御通知申上候
昭和十四年四月
平市南町十四番地（警察署通り角）
（舊診察所 平市六丁目）
木村外科醫院
木村淳
電話三〇九話
外科一般 內臟外科 性病科 肛門病科
◎入院應需